

## はじめに

今年度も「学校評価」にご協力を頂きありがとうございました。本校では、この評価結果を元に学校評価委員会で審議し、よりよい学校づくりに努めてまいります。

本年度は、多くの場面で保護者や地域の方々、卒業生から多くの励ましとねぎらいの言葉を頂きました。春の選抜県予選で準優勝し東北大会へと出場を果たした硬式野球部。多くの生徒に、努力を重ねた時間は絶対に裏切らないという希望を示してくれました。また、県大会優勝し東北大会へ進んだ軟式野球部、世界選手権大会（ロシア）へ出場したカヌー競技、県大会ベスト8に輝き春高バレー宮城県予選大会へ出場したバレーボール部。文化部においても、全国優勝した珠算部、県大会で優秀な成績を収め全国大会出場した簿記部、県大会で準優勝し全国大会に出場したコンピュータ部など、学校を支えてくださっている多くの方々に励まされて数々の成果をあげてまいりました。生徒がよりよい教育環境で「夢」を「現実」へとかなえられるよう、学校としても全力でバックアップしていきたいと考えております。今後ともご協力を宜しくお願いいたします。

## アンケート調査分析結果

今回の学校評価アンケートの結果、生徒・保護者は学校生活が充実していると感じている事が分かりました。生徒の評価が高い項目を順番に取りあげてみますと、「部活動が活発に行われている」「挨拶マナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている」「有意義な学校行事がある」「学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている」となっており、保護者に関しては、「部活動が活発に行われている」「有意義な学校行事がある」「挨拶マナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている」「本校と石巻専修大学の高大接続研究事業に期待している」となっていました。このことから、生徒が活躍できる様々な場が準備されていることで、一人ひとりが目標を持って努力することへとつながり、それに伴う高揚感が学校生活の充実へと発展していることが分かりました。また、進路の実現に向け、挨拶やマナーなど基本的生活習慣を確立することの重要性も浸透しているようです。廊下等で顔を合わせても、笑顔で積極的に挨拶をしてくれる生徒が非常に多くなっています。

また、学習活動においても、「学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業が行われている」という質問項目では61.6%と比較的高く、各自が目標を持って進路実現に向け取り組んでいることが分かりました。この結果を踏まえ、生徒一人ひとりの実態に応じた指導を行い、みなさんの「夢」の実現を全面的にバックアップできる体制づくりを進めてまいります。

一方、今回のアンケート調査結果から課題として取りあげられる項目は、「学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている」でした。問題となるのは生徒と保護者、職員間の意識のギャップです。生徒は77.2%と評価が高いのに対して保護者は68.0%と低く、さらに職員においては84.8%という結果が出ました。保護者・職員間の差は16.8%にもなります。現在の学校情報の提供は、紙媒体によるプリントの配布と、HPによるネット配信の2種類の方法で行われています。職員の評価が高く保護者の評価が低いという点は、現在の方式が学校からの一方的な配信になっていたということを示しており、その裏づけとして、「災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。」という質問に対する保護者の評価が48.6%と低かったことが挙げられます。生徒の夢を実現するためには、保護者・生徒・職員の三者がお互い常にコミュニケーションを取り合い、同じ意識のもと動いていく必要があります。今後はより迅速に、より確実に、そして適正な情報手段によって双方向通信を実現できるシステムを考え、早急に実行していきたいと考えております。

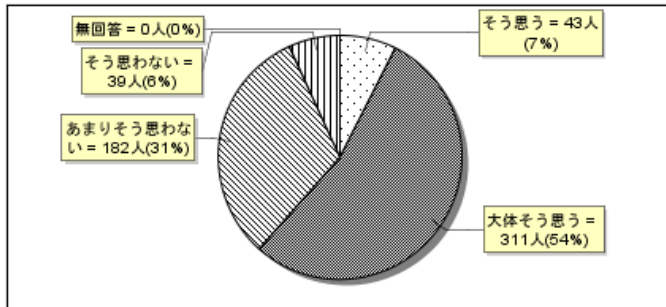
保護者の皆様にはご多用の中アンケートの回答にご協力を賜り、まことにありがとうございました。また、皆様のおかげで貴重なご意見がたくさん集まりましたこと、重ねてお礼を申し上げます。今回のアンケートの結果をもとに生徒の夢をバックアップし、地域に貢献できる学校づくりを目指して行きたいと思っております。

## 学習活動について

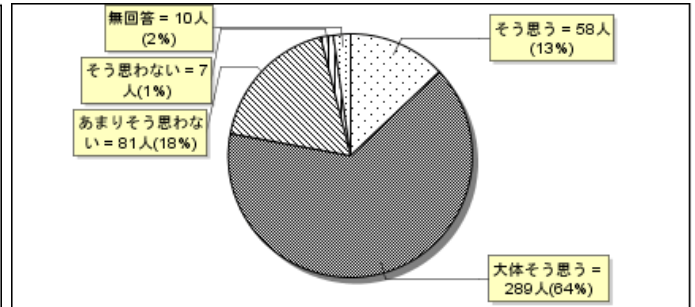
本校では、生徒の希望進路を実現するために次のような教育活動を実施しています。一年次では一般教科と商業に関する基礎・基本となる学習を行い、適性をしっかりと認識し、二年次から実施される進路希望に応じて類型（コース）ごとに分かれ、さらに専門的な学習を行います。「学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業が行われている」という質問項目では、平成18年度から56.0%、57.7%、67.0%、今年度が61.6%と推移は60%台で安定し始めました。また、「朝の読書に積極的に取り組み成果をあげている」においては72.1%と高い評価が得られています。これらのことから、今後もさらに、生徒がより自主的に学べるよう学習支援の在り方を見直していきたいと思えます。

### 1. 学ぶ意欲を引きだし、学力を身に付けられるような授業が行われている。

(生徒)



(保護者)



## 生徒指導について

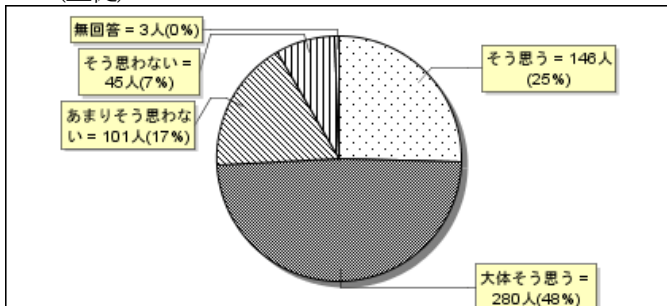
生徒指導に関しては、「学校生活は充実している」という質問項目では、生徒74.2%・保護者88.1%と高い評価が得られています。この要因として着目した項目は次の5項目が挙げられます。

- |                                     |          |           |
|-------------------------------------|----------|-----------|
| ○ 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている | 生徒 92.1% | 保護者 85.8% |
| ○ 教員やカウンセラーが必要なときに相談に応じてくれる体制ができている | 生徒 62.5% | 保護者 69.8% |
| ○ 部活動は活発に行われている。                    | 生徒 95.8% | 保護者 90.3% |
| ○ 生徒会活動は活発に行われている                   | 生徒 59.2% | 保護者 77.3% |
| ○ 有意義な学校行事がある                       | 生徒 79.2% | 保護者 86.9% |

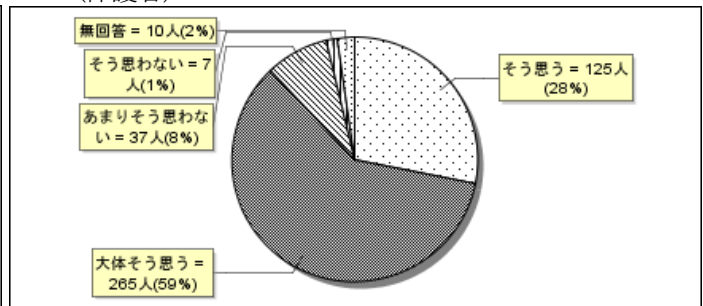
これらのことから、社会生活に必要な自主・自立の精神が形成され、また学校行事などが生徒の心身の育成を支えていることが分かりました。今後も片寄った指導をするのではなく様々な視点に立って学校運営を検討していきたいと思えます。

### 12. 学校生活は充実している。

(生徒)



(保護者)



## 進路指導について

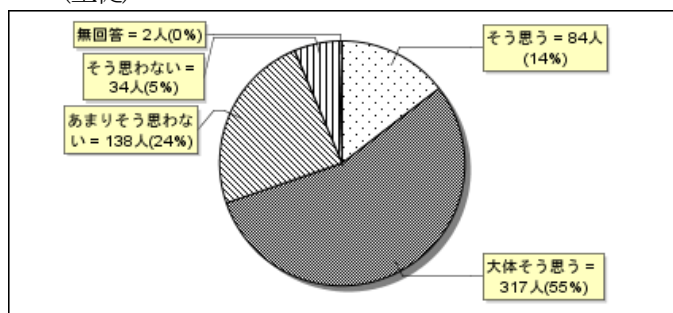
今年度12月末現在の全国就職内定率は74.8%（昨年82.3%）、宮城県では62.9%（昨年75.1%）といずれも昨年度を下回りましたが、本校での3月中旬現在の決定率は、就職87.7%でした。他の進路内訳としては、公務員が4名、四年制大学・短期大学42名（国立大学1名）、各種専門学校60名であり、全体の進路決定率は92.2%となっています。

現時点においていずれの内定率も上回っています。このように高い進路決定率を保つことが出来ているのは、地域と連携して行われている進路支援推進委員会の方々のご理解とご支援のおかげであり、深く感謝申し上げます。

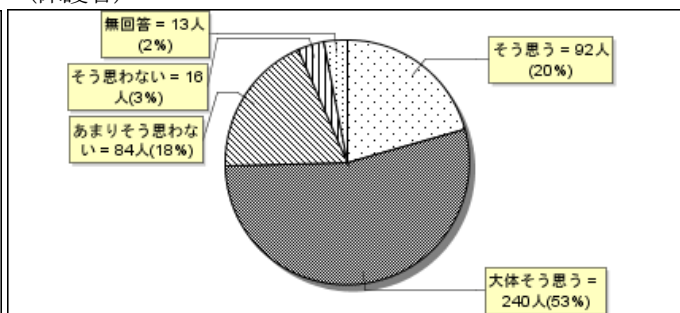
本校では、家庭・地域との連携を深めながら進路指導を進めています。また、進路指導部ではいち早く職場開拓や進学対策にあたり、生徒が積極的に進路意識を持ち行動できるよう、様々な場面で情報を提供しています。これらは、石巻専修大学との高大接続研究事業の効果も大きく、生徒がより身近に将来を感じ取っていることが伺えます。

### 3. 進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。

(生徒)



(保護者)



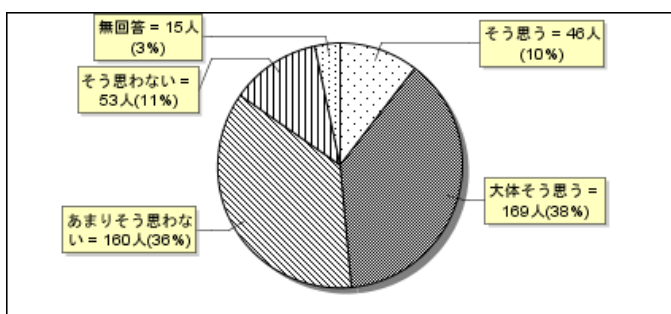
## その他について

今回のアンケート調査で最も反省すべき項目は、「災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている」でした。この点について真摯に受け止め改善策を検討していきたいと考えています。

また、改善された点もあります。「校舎のグラウンドなどの施設や設備は整備されている」という項目です。「夢」のフィールドであるグラウンドに手を加え、今まで課題だった。水はけの悪さを土質の改良によって解決しました。

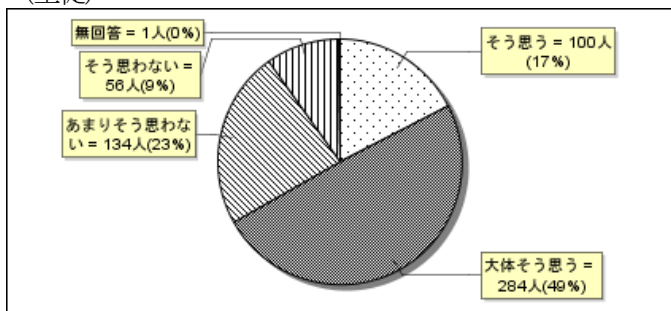
### 9. 災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。

(保護者)

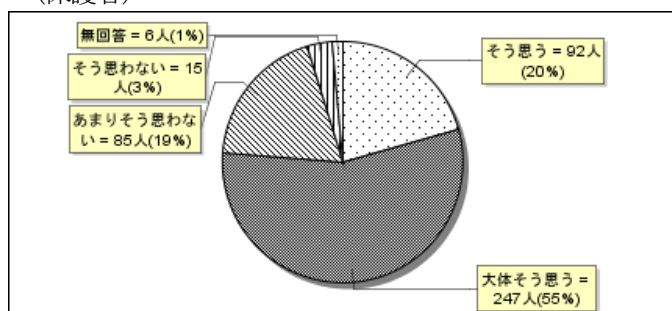


### 11. 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。

(生徒)



(保護者)



**結果のまとめ**

**平成21年度学校評価  
『教育活動アンケート』**

**生 徒  
保 護 者  
職 員**

宮城県石巻商業高等学校  
〒986-0031 石巻市南境字大樋 20 番地  
電話(0225)22-9188  
Fax(0225)22-9189  
<http://www.sekisyo.myswan.ne.jp>